



発行

角館中学校
生徒会放送報道委員会

印刷/騰写堂印刷

挑戦し続ける力



生徒会長 仲野谷 美晴

今年度の生徒会テーマは「限界突破」学び合おう 高

め合おう 希望あふれる未来に」です。角館中学校は昨年三十周年を迎え、今年は三十一周年という新たな一歩を踏み出します。このテーマには、「角中生一人一人が次のステップに向けて挑戦し続けよう」という思いが、込められています。

郡市総体を終え、このテーマを振り返ってみると、部活動と生活面共に「チャレンジ精神」が身に付いてきていると思います。郡市総体では、今までの練習を自信と

し、春季大会よりもずっと強く、たくましく、上へ上へと挑戦していく姿が見られ、各部とも満足のいく試合ができたと思います。また、生活面では毎週各学年ごとに集会を行い、テーマに基づいた発表をしています。「総体に向けて」や「感謝したい事」などテーマは様々ですが、自分の考えや経験を聞いている人にわかりやすく伝えること、自信を持って発表することに挑戦しています。

昨年は、粘り強く、さわやかな角中生を目指し、達成することができました。そして、今年度は新たな挑戦の年です。学び合い、高め合うことで、角中は、どんどんレベルアップしていきます。「限界

よりよい学校を目指して

生徒会副会長 米澤 悠介

新生徒会になり、私たち生徒会執行部は様々な取り組みをしました。もともと多くの生徒に元気なあいさつをしてほしくて、部活動キャンプ会議で「部活動ごとのあいさつ運動」を提案し、実行しました。これからも月に一度は実施して、活発なあいさつができるように運動を盛り上げていこうと考えています。また、昨年からの新しい活動として、学習委員会と協力し、「ノーゲーム・ノースマ

ホデー」という日を設定しました。その期間中はゲームやスマホ、マンガ、雑誌等を控えるように呼びかけました。その結果、「勉強に集中できた」「生活リズムがよくなった」などの感想がありました。これからも中間テストや期末テストの前に、実施しようと思っっています。六月からは、「裸足の清掃」が始まりました。足の裏で汚れを感じながら自分達の学舎をきれいにしていききたいと思います。

突破」学び合おう 高め合おう 希望あふれる未来に」このテーマを心に刻み、角中をさらに素晴らしい学校にしていききたいと思います。



さて、角中では郡総体が終わり、三年生は、全県大会へ出場した人、受検勉強が始まった人、文化部で目標に向かって努力する人など、それぞれが新しい道へとスタートしました。二年生は新たな角中のリーダーとしての自覚が芽生えてくる頃でしょう。一年生は学校に慣れて、少し余裕をもてる時期だと思っています。時間を有効に使って、後悔することのない日々を過ごしましょう。

一日一日を大切に、自分の限界を突破しましょう。

今、一年生として出来ること

一年学年委員 千代 華蓮

私達一年生は、入学してから三カ月が経ちました。学校生活にも多くの人が慣れてきたと思います。一年代表委員会では、今自分たちにできることを考え、頑張っています。その中でも特に力を入れているのは「あいさつ」です。あいさつ運動やあいさつチャレンジウィークなどを行い、あいさつ向上を目指して取り組んできました。そのおかげか、自分から積極的にあいさつをする人が増え、元気な声が聞こえるようになってきました。

翠星学年が次に頑張りたいことは、「切り替え」です。いつまでも話をしていたり、顔を下げている人が多いからです。行動にメリハリをつけられるよう改善していきたいです。

二年生での活動

二年学年委員 茂木 里久

一年生が入学し、先輩になって三ヶ月が過ぎました。先輩として後輩にお手本を見せ、先輩をサポートするため学年委員で「レッツゴー部活」や「紅駿サミット」という企画を立て実行していきま

レッツゴー部活とは、総体が近

づいた六月に、部活に早く行き、物を早く準備して三年生のサポートをする企画です。

紅駿サミットとは一週間に一回、学年でひらく集会のことです。その内容は、各クラスからの発表で、発表のテーマに対する意見を一人一人が考え、紅駿学年がより良くなることを目的としています。

これからも様々な活動に積極的に取り組む、二年生、全員でさわやかな学年にしていきます。

活動を振り返って

三年学年委員 田川 礼

三年代表委員が主におこなった活動は青嶺プロジェクトです。青嶺プロジェクトとは、毎週一回、その週ごとに決めたテーマについて発表し、お互いの考えを聴く集会です。人前で自分の考えを発表することの機会が増えたことで、学年の雰囲気も高まっています。プロジェクト開始時期よりも堂々と話せる人が多くなってきました。今後も色々なテーマをもとにして、貴重な時間となるようにしたいと思います。

六月には都市総体ががんばろうキャンペーンを行い、総体に向かう雰囲気を盛り上げることができました。これからもアイデアを発掘して、新しいことにも挑戦する青嶺学年生徒会にしていきたいと思っています。

委員会活動

委員会をふり返って

生活交安委員会 佐藤 嗣也

二年生の後期から生活交安委員長として活動してきました。生活交安委員の主な仕事は、服装チェック、放課後の見回り、街頭指導などです。特に今年は角中が自転車の乗り方のモデル校になったこともあり、特に街頭指導に力を入れました。例年までは一年に二回ほどでしたが、今年は四、五

回ほど実施しています。その成果がでて自転車の乗り方が良くなったと思います。しかしまだ一年生の駐輪場の乗り方などがまだ悪いので、今後改善していきたいです。これからも常時活動をより強化しより良い角中にしたいと思います。今後よろしくお願ひします。

今年度は「校内をよりきれいにするために」を目標に、校内でのゴミ拾いの呼びかけなどもしていきたいと思っています。全校生徒一人一人が、落ちているゴミを拾ったら角中がどんどんきれいになっていくと思うので、ご協力をお願いいたします。

学習委員会としてできること

学習委員会 草薨 言

私たち学習委員会は、常時活動である置き勉チェック、望ましい学習習慣を定着させるためのラブリーチェックなど、様々な取り組みを行ってきました。昨年度からは、「ノーゲーム&ノースマホデー」を設定し、年四回の定期テ

スト前には学習に集中して取り組むことを推奨するなど、新たな試みにも挑戦しています。

生徒や保護者のみなさまのアンケートにも、これまで地道に熱心に活動してきた成果があらわれてきているので、とてもうれい

す。今後、角中生の学習意欲の向上に貢献できるようにがんばります。

校内をきれいにするために

整美委員会 藤原 大地

整美委員会では、主に黒板消しクリナー掃除や下足棚の掃除、花だんの整備などの活動を行っています。黒板消しクリナー掃除は最後までやることを忘れる人が多いので改善していきたいと思

います。また、長期休業前の下足棚掃除も忘れずに行っていきたいと思

います。今年度は「校内をよりきれいにするために」を目標に、校内での

ゴミ拾いの呼びかけなどもしていきたいと思っています。全校生徒一人一人が、落ちているゴミを拾ったら角中がどんどんきれいになっていくと思うので、ご協力をお願いいたします。

体育委員会のこれまでの頑張り

体育委員会 佐々木 蓮

体育委員会の主な活動は、校内記録会の運営と、常時活動として今年度から始まった五分間走の準備、片づけと、体育館の見回りです。

今年度から始まった五分間走は初めは、誰も何も知らない状況でどうなるか不安でしたが、体育委員一人一人が積極的にきばきと働いてくれたおかげで、スムーズに事を運ぶことができました。

それから、校内記録会では、天候にも恵まれ、大盛り上がりで、すばらしい会にすることができました。

今後、「誰かやつてくれるだろう」と思わずに、自分から積極的に行動し、全校のみなさんをサポートしていきたいと思

います。図書委員会 皆川 真優

読書が好きになるように

図書委員会 皆川 真優

私たち図書委員会は、カウンター一番や朝の読書時間の進行、そして、読書が好きになってもらえるよう、集会や読み聞かせをがんばっています。

私は委員長になってから「全校が本にふれあえる機会を増やす」という目標をたてました。そして五月に行った読書集会では、たくさんの方の本への関心がさらに高まったように思いました。角中は読書好きの生徒が多く、

全国平均を上回っています。もっと多くの人に読書を楽しんでほしいです。そのために私たちは気持ちよく読書できるような環境を目指しがんばります。

給食委員長として

給食委員会 館岡 陸

私は二年生の後期から給食委員長として活動してきました。最初のころは何もかもが不安で緊張していました。先生や先輩が優しくサポートして下さったおかげで不安や緊張がなくなり、今では委員長としての仕事をすっかり果たせていると思います。

給食委員会では昨年度に続いて今年もタイムバトルウィークの活動を行い、全体的に給食の準備時間や身だしなが良くなってきたと思います。

これからも給食の時間がより良い時間になるように給食委員長として精一杯頑張っていきたいと思

健康な生活を送るために

保健委員会 竹内 達志

保健委員会では、角中生が健康で楽しい学校生活を送ることが出来るように活動しています。主に手洗いの石けん補充、健康観察、風邪予防の呼びかけ、ハンカチティッシュ調布等を頑張っています。その中で、毎日全校生徒が使



う石けん補充を忘れてしまう人が多く、迷惑をかけてしまいました。そこで、自分達の役割について再確認し、担当を決めて声を掛け合うことで、責任をもってしっかりと取り組むことが出来ました。



角中のために できること

購買委員会 小松 佳純

私は、二年生の後期から初めての購買委員となり、さらに委員長にもなりました。委員長なのに、初めてで戸惑うことばかりでした。第一回の中央委員会で、購買委員会が角中生と関わる機会が少ないことに気がつきました。

そこで私は、購買に買いにきてくれる角中生との会話を大切にしようと思いました。具体的には「笑顔で接する」、「あいさつをする」などです。購買委員会から角中生の友情の和が広がれば嬉しいです。今後も、伝統ある角中の購買委員であることを誇りに思っ、頑張っていきたいです。



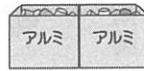
今までの活動を ふり返って

JRC委員会 藤原 一輝

JRC委員会は、緑の羽根募金の協力のよびかけを頑張ってきました。

した。昨年の反省をいかし、少しでも楽しく募金してもらうために、クラス対抗で行いました。その結果、目標金額を上回る事ができました。ご協力ありがとうございました。

また常時活動では、エコキャップ・アルミ缶回収の強化をしました。エコキャップ回収用のコップを全生徒に配布したり、アルミ缶回収BOXを一つ増やしたりしてきました。しかし、エコキャップ・アルミ缶回収率が変わっていないので呼びかけを頑張りたいです。ご協力よろしくお願います。



よりよい放送と 報道を目指して

放送報道委員会 小野 春奈

委員長を務めて半年が過ぎました。全体をまとめるのが得意ではないので、委員会では良い話し合いができていませんでした。だから、これからの委員会の目標としてみんなが意見を言い合える充実した委員会にしていきたいと思えます。

また、毎年の課題であった放送のマンネリ化では、積極的に企画の提案をしてキャプテンインタビューを実行することができました。他の番組でもクイズを取り入れてマンネリ化をなくすことができました。これらの課題と成果を活かして次の委員会、委員長へと受け継いでいけるようにしたいです。



郡総体を終えて

全県へ向けて

野球部 赤上 洸



僕達野球部は一球一球を大切にすることを心がけ、今大会に臨みました。

初戦の中仙中に四一〇、準決勝の生保内中に七一〇、決勝の太田中に一一〇で勝利し優勝することができました。全県大会では激戦区二区を勝ち抜いた自信と誇りを胸に堂々と戦いたいと思います。

「全県大会優勝」という目標を達成するために、自分ができる最前のこととして地域の方々へ元気を与えられるプレーをしたいです。応援してください。そして地域の方々暑いの中での応援ありがとうございました。



三年間の思い

男子バスケットボール部 藤原 大地



僕たち男子バスケットボール部は、全県大会ベスト8を目標に頑張ってきました。郡市総体では、初戦に中仙中と試合をしました。

全員がしっかりと自分の力を発揮して勝つことができたのでよかったです。次に決勝リーグで美郷中と試合をしました。全員がベストをつくしたけれど、惜しくも勝つことができませんでした。その後、この決勝リーグは、一勝一敗で三位という結果でした。

全県に行くことはできなかったけど、僕たちがここまで続けてこれたのは、保護者の方々の協力やみなさんの応援があったからです。本当にありがとうございました。

郡市総体を 振り返って...

女子バスケットボール部 佐藤 麻衣



郡市総体では、合計三試合ありましたが、その三試合を通して二つの課題が残ってしまいました。一つ目は、選手同士の「声掛け」です。試合中の声掛けが少なかつた為、攻守どちらとも無駄なミスが目立ってしまいました。二つ目は、「体力」です。三試合中二試合が接戦でしたが、相手に走り負けしどちらとも一点差という悔しい

結果で接戦に勝利することができませんでした。四月から監督が新任の高橋先生に代わり、走り込みの練習を取り入れることで走りには自信がりましたが、試合では走り込み練習の成果を発揮できませんでした。

みんなで戦った総体

バレーボール部 鈴木 佳穂

私たちバレーボール部は、「全県大会ベスト8」を目標として頑張ってきました。

初戦は、平和中学校でした。今まで一度も勝つことが出来なかつたですが、みんなで声を出して一本一全力で取りに行くことで勝つことが出来ました。次は、美郷中学校で、負けてしまいました。でも、次に生保内中学校と戦ったのでいい試合になりました。これからも、お世話になった人々に感謝して頑張ります。



闘い抜いた三日間

男子ソフトテニス部 鈴木 絢也

一日目の団体戦は南外中とあたり一一二で負けてしまい、二位通

過で決勝リーグへ進みました。決勝リーグでは仙北中に負けてしまいました。

二日目、三日目の個人戦では三ベアがベスト8に入り全県大会出場を決めました。あと一歩で負けた人もいましたが、その人達も最高のプレーができていたと思います。

この大会は、全員が自分の力を出し切り闘い抜いた最高の三日間でした。今まで応援して下さいましたみなさんありがとうございます。そして、最後まであきらめず戦った三年生のみなさん、ありがとうございます。ございました。



悔いのない郡総体

女子ソフトテニス部 阿部 有沙

私たち女子ソフトテニス部は、全県大会出場を目標に日々の練習を頑張ってきました。

団体戦、個人戦ともに全県に出場することは、出来ませんでした。でも、最後まで諦めず自分達らしいプレーをすることが出来たのでよかったです。ソフトテニスをやってきて学んだことは、たくさんありました。学んだことを日常生活で生かし、これからの生活をよりよいものにしていきたいと思っています。

そして、私達を支えてくれた後輩、ご指導して下さった鈴木先生、朝早くから送迎をして下さった保護者の方々、今まで本当にありがとうございました。



みんなで頑張った郡総体

男子卓球部 山田 凌

わたしたち男子卓球部は春季大会で全県大会にいけなかったのが絶対に全県大会にいくんだという強い気持ちで総体を迎えました。

予選リーグは中仙中と協和中には勝ちましたが豊成中には負けてしまいました。二日目の決勝リーグは全敗でした。結果は六位でした。残念な結果でしたがみんな一生懸命試合をしていたので悔いはないと思います。

個人戦では僕が全県大会に出場できるのでみんなの分まで頑張りたいと思います。そして今まで応援したり送迎したりして支えてくれた保護者の方々本当にありがとうございます。



伝統を胸に

女子卓球部 加藤 南美

私達女子卓球部は、郡大会準優勝で県大会出場へ駒を進めることができました。私達の目標は東北大会出場、そして県内一の応援声を出すことです。当日は会場、そして相手を圧倒する声とプレーで十五年連続県大会出場という伝統を守ることができました。

県大会では郡大会以上にチーム一丸となり最終目標である東北大会出場に向け残りの日々を充実させていきたいと思っています。強気と

粘り強いプレーで自分達の卓球、今までと一味違う角中で勝ち進んでいきたいです。そしていつも支えて下さった監督、コーチ、保護者の方々の思いを胸に戦ってきます。応援よろしくお願いします。



新たな目標に向かって

サッカー部 館岡 陸

私たちサッカー部は、全県大会出場という目標に向けて練習を頑張ってきました。郡市総体では、その目標は達成することができませんでした。私達は最後まであきらめずに自分たちのサッカーをすることができたので悔いはありません。

これからは三年生は本格的に受検勉強や面接練習などをしていくと思えますが部活で学んだたくさんの事を生かしていきたいです。そして、二年生の皆さんは少ない人数ではありますが次の新たな目標に向かって頑張ってください。



全県に向けて

柔道部 山本 和輝

僕は春に多くの新入部員を得る事ができ郡総体では初の団体で全県に行くことを目標に日々、努

力して練習に取り組んできました。結果は、惜しくも団体で全県に行くことができませんでしたが三年生と一年生二人が全県に個人戦で出場することができました。

県大会では郡総体で見つけた課題を無くして一つ一つの技を集中してかけて「精力善用」「自他共栄」の教えを胸に東北大会に出場できるようにしたいと思っています。

最後に今まで支えて下さった地域の人や保護者の方々、ありがとうございます。



久しぶりの団体戦

剣道部 安枝 侑

私たち剣道部は久しぶりに角館中として団体戦に参加しました。全チーム総当たり六試合を戦いましたが、残念ながら、私たちは敗退してしまいました。しかしその中にもおもしろい試合もありました。二試合目の協和中学校との試合です。一人目、先鋒の一年生は負けてしまいました。二試合目は一本一本、打ち切っていました。

二人目の中堅は相手に一本とられながらも、胸を取り返しました。私、大将は相手に二本取られて負けてしまいました。おもしろい場面が多かったと思います。

この総体で見つけた課題をこれからの練習、そして、新人戦につなげていこうと思います。これからも応援をよろしくお願いします。



全県へ向けて

バドミントン部 太田 出雲

郡総体がおわり、最後の大会も近づいてきました。

僕は、小六からバドミントンを習い始め今年で四年目です。スボ少にきている他の人は小二、小三から習っていたりもつと幼い頃から習っている人がほとんどでした。最初は強くなれる自信がありませんでしたが、今では自信をもって試合をすることが出来ます。

郡総体でも県総体でも美郷の人がほとんど上位にいます。美郷に負けないよう、今までの力を出しきり悔いのない試合をしたいです。



全力を出しきった後

水泳部 伊藤 彩美

私は郡総体で五十メートル・百メートル自由形に出場し、自分の出せるベストを出しつつ、見事全県出場を果たしました。第二位、三位という結果も出せたので良かったです。

しかし、全県総体では簡単に上位に入る事はできません。上を目指すには残りの少ない日数でいかに自分をさらに追いこむ事ができるかです。自分の事を追い込む事によって試合に強くなれます。

「自分を追いこむ」これを全県総体までの少ない練習での目標にして、本番では自分が頑張ってきた事を信じて力を出し切れるように頑張ります。

